

# ヒヨコのわき道

ほら、君もこっちに いらっしゃい



## 第24回 世界で一番大きな生き物？

「大きな動物と言えよ？」

大きな動物と言われて、思い浮かぶものは何でしょう？

ウシ？ウマ？彼らの体重は500Kgから1トンぐらいですね。

いやいや、やっぱりゾウとか、キリンを思い出すでしょうね。

アフリカゾウなら大型のオスの場合、体重10トンの者もいるそうです。細身のキリンの体重は最大でも1トンを越えるほどですが、頭の高さは5メートルを越えます。

一方、以前に取り上げましたが、アリが超個体を形成した「アリの巣」だって、トンネルの総延長が数10メートルになる巨大な動物でしたよね。

でも、ここで考えてみたのは陸上の動物だけですよね。

「海の動物も入れると？」

海に目を向けると、水の浮力のおかげで、動物たちは陸上より大きくなるのが可能です。ジンベイザメは全長13メートルを超えることもある、大型でプランクトンを食べるサメの仲間です。イカだって負けていません。ダイオウイカの仲間には、胴と腕を合わせて全長20mの個体も知られているそうです。

でも、海で大物と言ったら、やっぱりクジラでしょう。なかでもシロナガスクジラは全長が最大で34メートル、体重は200トン近くになるそうです。水の世界では、哺乳類もここまで大きくなれるなんて、感動ですよ。

また、少々地味かもしれませんが、体重ではクジラに遥かに及ばないものの、クラゲの中にはとてつもなく長い触手を持つものや、沢山の個体がつながった群体をつくるものがあるそうで、一説には長さ40メートルを越えるとも言われています。とにかく長さではクジラに負けない。ということ。

でもここで考えたのは、今、生きている動物ばかり。絶滅した動物も加えたらどうでしょう？

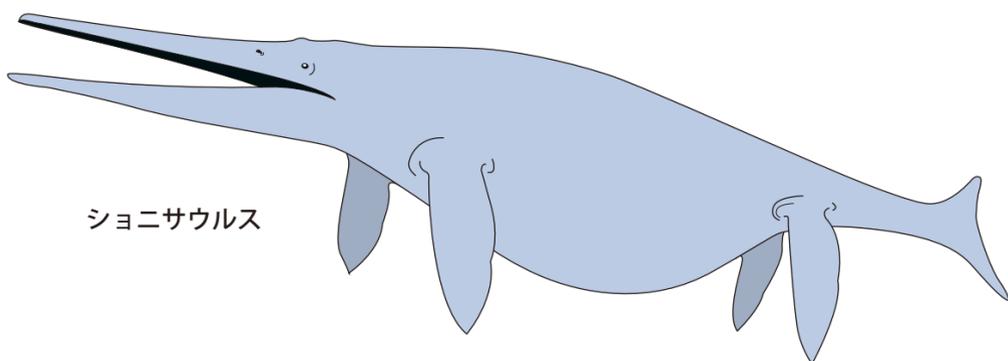
「絶滅した動物も入れると？」

絶滅した化石動物も視野に入ると、恐竜の存在を忘れるわけにはいきません。超大型の恐竜といえば、四足で、首と尻尾が長い、カミナリ竜の仲間が思い浮かびます。

復元された骨格としては、世界最大級といわれる「セイゾモサウルス」は、推定ですが全長33mとされています。でもこの話にはおまけがあって、この化石の個体は、完全に成熟したものではなかったそうです。彼らの寿命は100年～200年とも言われています。彼らの仲間が「大人になりきった」ならば、一体どれだけ大きくなったのでしょうか？全長50メートルを超えたのでしょうか？

海に住んでいた爬虫類で「ショニサウルス」と呼ばれる、イルカのような外形の魚竜は、なんと全長23mもあったそうです。これなら体重も間違いなくシロナガスクジラに匹敵するでしょう。ショニサウルスは、爬虫類の中では最大の化石の一つです。おまけに化石で出てくる動物は、たまたま発掘されたその個体が、種の中で最大級とは限りません。そのうち、このタイトルを奪還する新発見があるかもしれません。

でも、ここで考えたのは動物だけ。例えば植物にはどんな大きなものがあるのでしょうか？



「植物も入れると？」

今度は動物に限らず、植物に目を向けてみましょう。

メキシコヌマスギと言う種類の樹木の中には、幹の周囲の長さが58mもあるものがあります。

針葉樹の仲間には、高さが40～80mになるものがあるそうです。

こうしてひと通りながめて見ると、動物にせよ、植物にせよ、100メートルを越えるものはまず居ないんだな、ということが分かります。地上で高く伸びる樹木も、海の浮力で巨大化したクジラも、長さ数十メートルが限界なのだと。

でも、本当にそうなのでしょうか？何か見落としは無いのでしょうか？

「ノンジャンルで、ほんとに地球最大の生き物」

生き物全部から一番大きなものを探したら、今のところ最大なのは一体何なのでしょう？

あくまでも推定値なのですが、これが「ナラタケ」というキノコなんです。

え？高さ100メートルのシイタケでも思い浮かべましたか？

いえいえ、そう言うわけではないんです。

「山を覆う怪物？」

私たちが思い浮かべるキノコの食べられる部分は、キノコたちが胞子を飛ばすための「子実体」と呼ばれる部分です。花の咲くアサガオやヒマワリに例えてみれば、それは「花」のようなもの。ナラタケの子実体は、傘の直径が数センチの、何の変哲もないキノコなんです。でもその地面の下には、「キノコの本体」である「菌糸」が縦横無尽に張り巡らされていて、時に広い範囲をカバーしているというのです。

ある研究者の推測によると、彼が発見したアメリカ、ミシガン州の森の中に広がるナラタケの菌糸は、広さは数キロメートル四方に及び、その菌糸の総重量は1000トンに上ると言うのです。離れた地点で採取した菌糸のDNA型が、同一であることから推測されました。地下の菌糸は無性的に増殖するので、同一個体と考えられるというわけです。菌糸がこれほどまでに広がるには、1000年ほどかかっていると推測されています。

大きな生き物と言うと、空高くそびえているか、大海原をゆうゆうと泳いでいるか、と考えてしまうところですが、まさか1000トンの怪物が、土の中に潜んでいようとは。

見方を少し変えるだけで、こんなに巨大な生き物が見つかるとは驚きですね。

森を歩く機会があったら、思い出してみてください。あなたは今、世界最大級の生き物の、真上に立っているのかも知れませんよ。